



第137号
 平成22年12月25日
 田迎校区公民館
 館長 東 旭
 編集委員
 上田 昭蔵 吉住 久江
 小林省三郎 西 朝徳
 ☎378-5878
 編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町にくらしの工夫)

実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

和気あいあい80人がプレー 町民グラウンドゴルフ親睦の集い

平成二十二年十一月二十四日(日)、託麻中学校運動場に於いて、田迎校区体育協会(石原輝捷会長)主催の「田迎校区町民グラウンドゴルフ親睦の集い」が開催された。

当日は晴天に恵まれて、グラウンドゴルフをプレーするの、最高の日となった。

はじめに、石原会長の挨拶のあと、競技上の注意がなされ、親睦の集いの会は開始された。

「町民グラウンドゴルフ親睦の集い」に参加したのは、子どもを含めて八十名余近くであった。

競技は、午前九時から開始された。一チーム五〜六名で編成されて、十六チームに別れて、ゲームは始められた。「町民グラウンドゴルフ親睦の集い」は、町民の健康づくりと、融和親睦を図るを目的とした。



参加者は老若男女と子ども二名であった。

試合の方法は二回戦行いその総合点で勝負を争うとの事であった。十六チームがAコート、Bコートに別れて勝負を競っていた。

ゲーム中は、お年寄りの方が子どもに手とり、足とり、玉の打ち方、方向、力の加減を丁寧に教えている場面は微笑ましいものがあった。

和気藹藹の中にゲームは終了した。

表彰は各チーム毎に行われ、優勝者には賞品が渡され、ブービー賞、ホールインワン賞も各チーム毎に渡された。また、参加した全員に参加賞が配布された。

すばらしい天気の中で大盛況のうちに町民の親睦の集いは無事に終了した。

かしい患者になるためには

平成二十二年十一月十四日(日) 午後一時三十分から三町内市営団地集会所において、「ふれあい出前講座」が行われた。

講座は、「今の医療の中でかしい患者になるためには」の演題で、熊本市役所地域医療課の技術参事、岩崎浩忠氏を講師に迎えて行われた。

市営集会所には、地元住民約三十名が参加し、講演は始められた。

講演の内容は次の通りである。

はじめに医者と患者とのすれ違いの様子についての話があった。ある病院で通院中、検査結果をもらったが、正常値

子ども生き生き

フレイパーク

平成二十二年十一月二十八日(日) 午前十時から、出仲間公園において、田迎校区青少年健全育成協議会主催で自治会や各種団体後援による「田迎フレイパーク」が実施された。

午前十時に青少年協会長の下川氏の挨拶のあと、フレイパークは始められた。

フレイパークは、子ども一人ひとりが自己の責任のもとに、楽しく遊ぶことを目的としている。開始当初から、子ども達は、お目当ての場所に行つて



いた様であった。子ども達も今日一日と本当に楽しく暮したのと思われた。



が書いてないので分らない。医師が忙しそうで話が聞けない。医師が自分の話を聞いてくれない等の事例の話があり、かしく医師にかかる10箇条についての話があった。

- 一、伝えたいことはメモして準備
- 二、対話の始まりは、あいさつから。

- 三、よりよい関係づくりはあなたにも責任が。
 - 四、自覚症状と病歴はあなたの伝える大切な情報。
 - 五、これからの見通しを聞きましよう。
 - 六、その後の変化も伝える努力を。
 - 七、大事なことはメモをとって確認。
 - 八、納得できないことは何度でも質問を。
 - 九、医療にも不確実なことや限界がある。
 - 十、治療方法を決めるのは、あなたです。
- 以上の事を念頭において今後はわかりにくい事は何度でも医師に尋ねる事やかかりつけ医を作つて、気軽に相談にのってくれる、「ホームドクター」的な病院をおく事が大切だとして話を締めくくられた。

お知らせ

「ふれあい出前講演会」開催の
 平成二十三年二月十三日
 日曜日、午前十時三十分から、田迎公民館において講演会を開催します。

講師は、公立菊池養生園の名譽園長
 竹熊 宣孝 先生
 演題
 「いのち一番」
 金は二の次

今回は、熊本で医者として、多くの患者さんと接してこられた経験と、ご自身の体験から病気になるための養生生活を提唱される。百姓医師の赤ひげ先生の竹熊先生です。講演会への多数の参加をお願い致します。